

ぶんかざい おおた



第8号

平成17年10月発行

11月1日～7日は
文化財保護強調週間

文化財愛護シンボルマーク



大田区には多くの文化遺産があります。神社やお寺などよく知られている場所のほか、身近な自然や町の景観など地域に親しまれている文化財を後世に残し、活かし、伝えていくことは、大田区らしいまちづくりに欠かせません。

今回は、平成16年度に実施した文化財に関する事業を紹介します。

史跡めぐりを行いました

史跡めぐりは、区民の皆様にご地域の歴史や文化財への関心と理解を深めていただくために行なっています。講師の話聞きながら、通常は非公開の文化財を見学できる機会として好評です。近年は応募者が多く、抽選になることが増えています。

平成16年度は、次の3地区で行いました。

- (1) 馬込地区 5月18日(火) 参加者 69名
万福寺、長遠寺、河原家住宅主屋<国登録文化財>など、「馬込九十九谷」らしさを散策。
- (2) 池上東地区 11月16日(火) 参加者 96名
池上本門寺、法養寺、妙見堂・昭栄院など通常非公開の仏像や大名墓所なども見学。
- (3) 鷺の木地区 3月10日(木) 参加者 83名
筏道いばどうや六郷用水跡、路傍の石造遺物など、文化遺産も探索。
「昭和のくらし博物館」<国登録文化財>は、文化財の公開活用の好事例です。



『大田の史跡めぐり(増補改訂版)』

区・都・国の指定・登録文化財を中心に、区内12地区のモデルコースに沿って、地域の文化遺産を紹介しました。
このガイドブックを片手に、地域再発見をしてみませんか。

- ▼ 規格 A5判変形 (136×210) 68ページ
- ▼ 価格 350円
- ▼ 販売場所 郷土博物館
区政情報コーナー (区役所本庁舎2階)

遺 跡 調 査 報 告

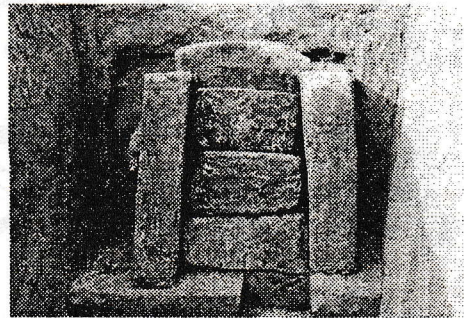
桐ヶ谷横穴墓群(きりがやよこあなぼぐん)

平成16年7月、中央五丁目19番の宅地造成工事現場で、南側斜面に横穴墓が2基発見されました。

調査の結果、1号墓は、内部(玄室)の全長3.95m、広さ5㎡、高さ1.5mで、天井はアーチ型です。玄室には、熟年男性2体、壮年男性1体、成人女性1体と未成年4体の合計9体発見されています。9体の出土人骨から横穴墓は、数回使われたと思われます。

2号墓は、玄室の全長3.4m、広さ6㎡、高さ1.45mで、天井はアーチ型です。玄室には、玉石の上に熟年男性1体が埋葬されていました。2号墓は門柱の内側に横3段積みの切石で閉じる立派な構造をもつ羨門(入口)でした。

これらの横穴墓は、墓室の形態から7世紀後半～終末に構築されたと推定されます。



2号墓の羨門(入口)正面

平成16年度 埋蔵文化財調査件数

発掘届95件、試掘調査9件(久ヶ原遺跡3件、出村・明神山遺跡、大森堀ノ内遺跡、葎田神社遺跡、稲荷森遺跡、山王遺跡2件)、確認調査1件(桐里町貝塚)、本調査2件(新居里横穴墓、桐ヶ谷横穴墓群)

大田区の埋蔵文化財 第17集 刊行のご案内

久原小学校内遺跡、桐里遺跡、宝萊山古墳、観音塚古墳、大森堀ノ内遺跡の発掘成果を収録した埋蔵文化財調査報告書(CD-ROM付)。

▼報告内容

久原小学校内遺跡では、旧石器時代～古墳時代の集落跡が、桐里遺跡は、縄文時代前期中頃に住居跡が発掘されました。

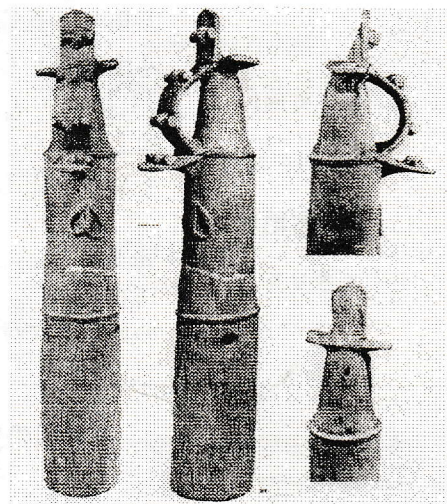
宝萊山古墳では、前方後円墳の後円部墳端が発掘され、この調査で推定されていた前方後円墳の全体規模が確認されました。

観音塚古墳では、58年ぶりに発掘調査され、埴輪や土師器が多く出土し、前方後円墳の規模と築造年代が推定できました。また、多摩川下流域左岸の首長墓の変遷を考える上で重要な調査ともなりました。

大森堀ノ内遺跡では、呑川河口にも中世以前の古代遺跡のあることが確認されました。

▼販売価格

2,500円、A4判、230ページ



観音塚古墳出土の大刀形埴輪



文化財保存事業



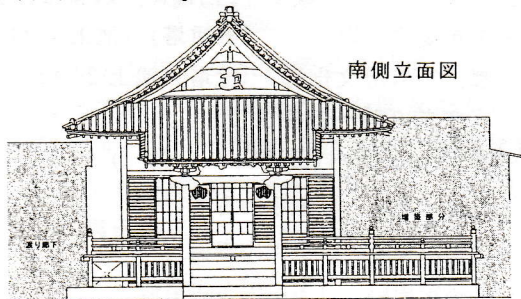
妙福寺祖師堂(みょうふくじそしどう) (旧七面大明神堂)修理事業

国登録文化財
南千束 2-2-7
＜国庫補助事業＞

七面大明神堂は、日蓮が洗足池のほとりで休憩した際に日蓮を守護してきた七面観音が出現したので建てられたと伝えられています。

近年雨漏りが生じたため、修理事業を実施しました。この工事に伴う調査で、地盤沈下による床組の腐朽、床の傾斜、外壁の損傷が確認され、併せて安全性の確保を考慮した修理工事を実施しました。

また、天保4年(1833)と伝えられていた建築年代が、建築の様式から明治期であるとも判明しました。



南側立面図



東部八幡神社社殿修理事業

区指定文化財
久が原 2-18-4
＜区補助事業＞

文久2年(1862)に建てられたといわれ、江戸末期の神社建築の特色を伝える社殿です。入母屋づくりの屋根は、現在、銅板に葺き替えられていますが、かつては茅葺になっていました。

今回は、傷みが著しい床板や左右の板扉の修理を行いました。

先人から受け継いだ文化財は、地域の歴史・生活文化を知る手がかりであり、将来へ継承していきたいものです。

文化財の保護・管理・活用に関するご相談は随時行っております。

文化財調査



宝幢院梵鐘(ほうどういんぼんしょう) 現況調査

区指定文化財
西六郷 2-52-1

延宝9年(1681)、椎名伊予守良寛によって鑄造された、区内最古の現存梵鐘です。金属疲労度等、保存状況について、加藤勝氏(東京国立博物館)に依頼し、現況調査を行いました。

調査の結果、龍頭の一部に緑青サビや通常使用の撞座の摩損などが確認されましたが、保存状態に緊急を要するものではなく、今後、定期的な経年変化を観測していくことが必要であると報告されました。



国登録文化財候補調査

明治初年に建てられた茅葺の古民家(西嶺町所在)を調査しました。現在も生活の場として使われているのは、区内ばかりではなく東京都内でも希少な存在といえます。

今回の調査をもとに、平成17年度国登録文化財の登録に向けて手続きをしています。

文化財近況報告

登録文化財は、現在19件になりました。

位田家住宅主屋(いんでんけじゅうたくおもや)

－外観のみ公開－

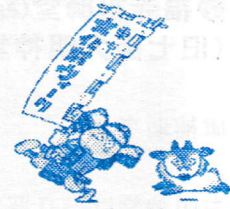
田園調布 3-12-11

昭和5年(1930)建築。外観は、目板付縦板張、上部白漆喰塗で、隣接する竹中家住宅主屋<国登録文化財>とともに田園調布における町並みの様子を伝えています。

文化財ウィークのおしらせ

東京文化財ウィーク (10/1～11/30)

期間中、都内全域で国・都指定文化財の公開
(11/3～11/14)、各区市町村との連携による、文
化財事業を行います。



文化財まもるくん みるちゃん

大田区の事業紹介

文化財保護強調週間記念講演会

「歴史的建造物の親しみ方・楽しみ方」

- 日時 10月29日(土) 午後2時～4時
- 場所 大田区役所 2階会議室
- 講師 福田 省三 氏
(建築文化研究所長)
- 定員 100名
- 申込方法 往復はがき 10月5日必着
- 申込先 大田区立郷土博物館

史跡めぐり 「千束地区」

- 日時 11月18日(金)
午後1時30分～4時頃
(小雨決行)
- 集合場所 洗足池図書館
- 主な見学先 妙福寺、鳳凰閣、勝海舟墓所
- 定員 100名
- 申込方法 往復はがき 10月~~26~~²⁷日必着
催し物名、参加者全員の住所・
氏名・年齢・電話番号を明記
- 申込先 大田区立郷土博物館
- 参加費 無料(入館料は自己負担)

文化財写真パネル展

- 区内の遺跡調査、指定・登録文化財などの
写真パネル、遺跡出土品を展示します。
- 期間 ①10月24日～11月4日
②11月7日～11月16日
- 時間 ①②とも庁舎開庁時間
- 場所 ①大田区役所 1階ロビー
②大田西地域行政センター分室
1階ロビー(写真パネルのみ)

文化財の公開

- 本行寺 (池上 2-10-5)
 - 都指定有形文化財(典籍)「法華経板木」
11月6日(日) 午前10時～午後4時
 - 都指定旧跡 「日蓮上人入滅の旧跡」
11月3日～13日 午前9時30分～
午後4時30分
 - 池上本門寺 (外観のみ。内部に入れません。)
 - 国重要文化財 「五重塔」(池上 1-1)
 - 都指定有形文化財 「宝塔」(池上 2-10)
午前9時～日没まで
 - 多摩川台公園内(田園調布 1-63-1)
 - 国指定史跡 「亀甲山古墳」
 - 都指定史跡 「宝萊山古墳」
 - 都指定史跡 「多摩川台古墳群」
 - 大田区立郷土博物館(南馬込 5-11-13)
国重要有形民俗文化財
「大森及び周辺地域の海苔生産用具」
- *参加方法
- は当日現地へ
 - ～④は期間にかかわらず見ることが出来ます。

文化財ウィークマップ

- 配布場所 (数に限りがあります。)
- 大田区立郷土博物館
 - 大田区役所 2階 区政情報コーナー

大田区教育委員会 郷土博物館 文化財担当
〒143-0025 大田区南馬込五丁目11番13号
Tel 03(3777)1070 Fax 03(3777)1283